

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	経営企画課	事業No.	366
事務事業名		会計	病院事業会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
	分野別計画			飯田市立病院中期計画	
				飯田市立病院新改革プラン	
法令・例規等					
事業目的	対象	飯田・下伊那（二次医療圏）の住民			
	意図	安全・安心で良質な医療の提供			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	新たに策定した中期計画や市立病院改革プランに基づき、中核病院として医療の質の向上と継続的な経営合理化に取り組んだ結果、2年連続で黒字決算とすることができました。 1 診療体制の充実、医療安全の確保、がん診療、救急医療、産科医療の充実 2 患者中心の医療の実践 3 地域医療連携の推進、地域包括ケアシステム構築への貢献 4 職員が誇りを持って働ける職場づくり 5 病院機能の維持、施設長寿命化事業の実施 6 防災・災害対策の強化		医療費用（給与費、材料費など）		13,201,272						
			医療外費用（利息の支払いなど）		160,818						
			資本的支出（施設改修、医療機器の整備など）		2,337,768						
			その他の経費		0						
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	入院患者数	人/年	118,625	112,767	116,532	115,495	117,288	116,714			
	外来患者数（健診等除く）	人/年	219,000	216,591	215,000	215,020	215,000	210,694			
	救急車受入件数	件/年	3,100	3,236	3,300	3,464	3,390	3,488			
	分娩件数	件/年	1,450	1,306	1,300	1,181	1,200	1,140			
1年度決算(千円)	予算額	16,026,501	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	15,699,858	(国) 臨床研修費等補助金 (県) がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金 ほか (地) 病院事業債(充当率100%) (そ) 一般会計からの負担金及び出資金 ※一般財源は診療報酬など ※事業費は人件費を含む額 30→1 繰越額 211,776千円 1→2 継続費繰越額 34,754千円								
	財源の状況	国庫支出金	9,797								
		県支出金	38,288								
		地方債	1,007,600								
		その他	1,360,608								
一般財源	13,283,565										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	72	61	1	0	0	0	16,026,501	15,699,858	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		令和元年度は、2年連続して黒字決算を達成することができました。前年度と比較し、入院患者数が増加したこと、また外来患者数は減少したものの外来診療単価が大幅に上昇したことなどから、当院の地域医療支援病院としての役割が地域で認知され、地域医療連携が推進されてきている成果といえます。しかしながら、医師をはじめとする医療スタッフの人員不足の状況は依然続いており、健全で効率的な経営に向けて、経営・業務改善の取組を更に推進していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		救急患者、重症患者の積極的な受け入れ、地域における紹介・逆紹介の推進には引き続き重点的に取り組み、更に薬剤管理指導や栄養食事指導等の増加、入退院支援の拡大なども強化していく必要があります。既に導入している病院経営コンサルタントからのアドバイスを受けつつ、業務のマニュアル化やRPAの導入による効率化などが有効な手段と考えます。							
次年度に向けての取り組み		令和2年度診療報酬改定に的確に対応していくため、引き続き病院経営コンサルタントを活用し、全国水準での点検を行い、目標達成に向けて更なる改善を図ります。また、院内の経営・業務改善の機運を更に高め、業務マニュアルの明確化、業務の効率化、標準化についても取組を進めていきます。							